

ウトナイ湖通信



No.246

2024年11月号

ウトナイ湖周辺の木々は葉が落ち始め、地面に枯れ葉の絨毯が敷かれたように歩くのが楽しくなります。また、シジュウカラやハシブトガラ、ゴジュウカラ、エナガ(亜種シマエナガ)などの小鳥たちが観察しやすくなります。

ウトナイ湖は、周囲約9km、面積約275ha、平均水深約0.6mの淡水湖です。鳥類はこれまでに約270種が確認され、ガン・カモ・ハクチョウなどの渡り鳥にとって重要な中継地、越冬地となっています。

11月のイベント情報

お気軽ガイドウォーク in ウトナイ湖

11月10日(日)10:30~11:30

レンジャーや当センターのボランティアが40分程、屋外でウトナイ湖の自然を案内します。

※荒天時は館内ガイドウォークに変更します。

- 定員:10名程度
- 申込:不要。直接当センターへ。
- 対象:どなたでも
(小学生以下保護者同伴)



ボランティア体験講座

～ウトナイ湖の自然を調べる仲間を募集中～ 水鳥カウント調査体験



12月1日(日)9:30~12:00

前半は当センターのボランティア活動やウトナイ湖の説明、後半は屋外で水鳥カウント調査を体験いただきます。ご希望の方は受講後に当センターボランティアとしてご登録していただけます。

- 定員:申込先着5名
- 申込:11/1(金)~11/30(土)まで、電話で当センターへ
- 対象:高校生以上

※当センターのボランティアは本講座を受講した方のみ登録いただけます。

市民ギャラリー

「苦小牧の水鳥絵画展」



会期:11月1日(金)~11月17日(日) 主催:苦小牧市環境生活課
内容:苦小牧市民の皆さんが描いた水鳥が並びます。



◆ウトナイ湖野生鳥獣保護センター◆ TEL.0144-58-2231

〒059-1365 苦小牧市植苗 156-26 / 道の駅となり

開館時間:午前9時~午後5時 / 入館無料

ウトナイ湖野生鳥獣保護センター

検索

休館日:毎週月曜日(祝日の場合は翌日)及び年末年始

ラムートくん



～ウトナイ湖～

・国指定鳥獣保護区特別保護地区
・ラムサール条約湿地
・東アジア・オーストラリア地域
・フライウェイ・パートナーシップ

傷病鳥獣ルームから

当センターでは、国指定ウトナイ湖鳥獣保護区とその周辺(苫小牧市行政区域内)において人為的な原因で保護された傷病鳥獣の救護・リハビリを行っています。その活動の一端をご紹介します。



コムクドリ

体重 51g



診察時の様子



くちばしの先端がずれている

8月16日



リリース

原因：人工物等の衝突疑い

住宅の敷地で飛べずにいたところを保護され、当センターに搬入。翼や足などの骨格に異常は認められなかったが、くちばしの上下に、ずれが生じていた。おそらく、人工物等に衝突した際に負傷したものと思われる。

しかし、くちばしの開閉の動作に問題がなかったため、自然界でも採餌可能と判断し、同日中にリリースとした。

コムクドリ (スズメ目 ムクドリ科)

全長 19 cm。雌雄共にくちばしは黒く、足は黒褐色。オス成鳥では、頭部が白く、頬から耳羽にかけて赤茶色の大きな斑がありよく目立ちます。メス成鳥では、頭部は灰褐色で、オスのような赤茶色の斑はありません。夏鳥で、平地から低山の開けた林、防風林や河畔林、などで生息しています。

トピックス



ボランティア体験講座 自然を調べる仲間を募集中

当センターのボランティア活動の一つである、自然情報収集調査を体験する講座を開催しました。観察路で見られた木の実や花などをレンジャーが解説、参加者にはマップに記録し、最後に自然紹介カードを作成してもらいました。



秋の渡り鳥を楽しむ

10月20日、当センターにて秋の渡り鳥 DAY を開催しました。宮島沼水鳥・湿地センターの牛山氏を講師に招いた講演会やはじめての水辺の渡り鳥観察会、マガンのカウント体験コーナーなど来館者の方に楽しみながら渡り鳥について知っていただきました。



ボランティアコーナー

9/29 に実施したボランティア体験講座にスタッフとして参加されたボランティアの藤野訓さんにインタビューしました。

ボランティア体験講座のサポート活動に参加しようと思った理由はなんですか

藤野 訓さん

ウトナイ湖のボランティアは、お手伝いやサポートだけでなく、豊富な知識や経験を持つレンジャーさんやベテランボランティアさんからの学びが魅力です。そのことを市民の皆さんにも知ってもらいたいと思い参加しました。

参加してみた感想を教えてください

植物、鳥、虫など興味の対象や知識も参加者によって異なるので、すべての方に臨機応変にコミュニケーションをとることは難しかったのですが、主催者側と参加者が互いの得意分野を学び合う場にもなっていると感じました。

印象に残った自然情報などがあれば教えてください

ヒシクイが日に日に増えていて渡り鳥の季節が到来していました。
今年は木の実が豊作ですね。鳥たちの好物のそばで少し待つと食事の様子を観察できることもありますよ。



参加者にハンノキの実を紹介する藤野さん

ウトナイ湖 お楽しみコーナー 【ウトナイ湖・クイズ】

寒くなるこれからの季節、様々な種類の野鳥が集まる「混群」が見られます。エサ探しや敵から身を守るため種を超えて行動を共にします。その混群に見られない野鳥はどれでしょう？

※答えは最後のページにあります。

①クロツグミ



②ハシブトガラ



③キバシリ



④コゲラ



公式 SNS には、ほかにもたくさん情報を載せています！



Instagram



facebook



X(旧 Twitter)





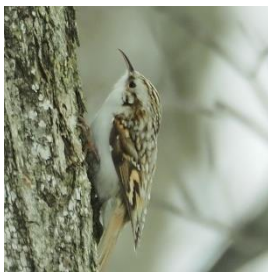
【カケス】

秋になるとウトナイ湖にやってくる。ハスカップの小径などの木立の中で「ジェーッ」といわれた声で鳴いている。



【ツグミ】

冬鳥としてウトナイ湖にやってくる。ハンノキのテラスの近くでズミの実を食べている様子を見ることがある。



【キバシリ】

キタキツネの小径など森の中で「チリリ」という小さな声が聞こえたら木の幹を見よう。キバシリがいるかもしれない。



【ゴジュウカラ】

ウトナイ湖の森に一年中棲んでいる。木に垂直にとまり、頭を下にして降りてくることができる。

レンジャーのおすすめ自然情報

ウトナイ湖の湖面は 10 月に比べると静かになりますので、森に住む鳥たちにも注目してみましょう。落葉が進み、森で鳥たちを観察しやすい季節です。風邪をひかないように暖かい支度をして、森の中で足を止め、耳を澄ませてみましょう。きっと野鳥との素敵な出会いが待っていますよ。



ウトナイ湖で自然観察を楽しもう♪

最新自然情報や、自然観察路マップはこちらから



Instagram



facebook



X(旧 Twitter)

自然観察路ガイドマップ【秋】

秋のお薦めポイント

ロシア極東から渡ってきたマガンやヒシクイ、ハクチョウ類、カモ類が湖で水草などを食べたり、のんびりと休息している姿を見ることができます。林の中はカラフルな木の実や紅葉で彩られ、シマリスなどが冬支度を始めています。

